

嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会目視調査結果

調査年月日 平成27年7月16日(木) 午前8時から午後6時まで 天候 晴れ
 調査地点 嘉手納町/道の駅かでな 北谷町/ニライセンター 沖縄市/コリンザ

1 目視確認回数 124回 (常駐機 86回 外来機 38回)

(1) 離着陸回数 97回 (離陸 49回 着陸 48回)

離陸回数		49		着陸回数		48	
内訳	F15	25	内訳	F15	25		
	F16	10		F16	10		
	FA18	0		FA18	2		
	AV8	0		AV8	0		
	EA6	0		EA6	0		
	HH60	0		HH60	0		
	KC10	0		KC10	0		
	KC135	1		KC135	1		
	KC130	1		KC130	1		
	RC135	1		RC135	0		
	P3C	2		P3C	3		
	EP3	1		EP3	1		
	P8	0		P8	0		
	E8	0		E8	0		
	C12	0		C12	0		
	C17	0		C17	0		
	C40	0		C40	0		
	C130	1		C130	1		
	UC12	0		UC12	0		
	UC35	0		UC35	0		
その他	7	その他	4				
合計	49	合計	48				

目視調査において、嘉手納飛行場から離陸または着陸した機種内訳の回数を表記しています。
 常駐機であるF-15、KC-135、HH-60、C-130、P-8、P-3C、UC-12、EP-3などのほか、外来機であるF-16、FA-18、AV-8など表記しています。

ローパス・・・滑走路を低高度で通過することです。
タッチ&ゴー・・・着陸体勢で滑走路に進入し、滑走路に触れてから再度高度を上げることです。
ストップ&ゴー・・・着陸後いったん機体を停止し、その後離陸を行うことです。
上空飛行・・・嘉手納飛行場上空を通過することです。
居住地上空飛行・・・北谷町、沖縄市、嘉手納町の民間居住地上空を通過することです。
急上昇・・・航空機が高度を急上昇させることです。エンジンの出力を上げるため騒音増加につながります。
急旋回・・・航空機が鋭く旋回することです。エンジンの出力を上げるため騒音増加につながります。
その他・・・滑走路でのエンジンテストやヘリによる低空飛行等、上記に記載のないものです。

- (2) ローパス 4回 (6) 居住地上空飛行 2回
- (3) タッチ&ゴー 12回 (7) 急上昇 0回
- (4) ストップ&ゴー(セスナ) 4回 (8) 急旋回 3回
- (5) 上空飛行 5回 (9) その他 0回

2 主な航空機の飛行パターン別 総計 34回

種別	F-15	F-16	KC-130	KC-135	P-3C	FA-18	その他	計
A	4	2	0	0	0	0	0	6
B	1	1	0	0	0	0	0	2
C	1	1	0	0	0	0	2	4
D	0	0	2	1	2	0	1	6
E	9	2	1	0	0	2	2	16
計	15	6	3	1	2	2	5	34

あらかじめ5類型した飛行経路パターンのうち、目視できた飛行経路を表記しています。
 このうち、DコースとEコースは基地内上空と市街地上空を通過している飛行経路です。また、そこから更に居住地側へはみ出したものを「はみ出し」としてカウントしています。
 各市町村へ情報提供を行う際にはこちらの飛行経路パターンをご参考にしてください。

3 市街地上空飛行 15回
 (居住地上空飛行と各コースのはみ出しの合計)

4 騒音最高値 97.0 dB (F16離陸アフターバーナー使用時)

目視調査時、本部(道の駅かでな)で測定した航空機騒音の最高値を表記しています。
 ()内は、最高値の要因を表記しています。